

# もりや仙一郎便り

県政報告 Vol.100



新型コロナ

## ワクチン接種スタートへ

天童市 高齢者接種5月11日から



ワクチン接種に関する問い合わせを受け付ける天童市のコールセンター

いよいよ山形県内でワクチン接種が始まります。4月までに医療・福祉従事者に対しての接種が実施され、郵送が始まったばかりです。この日は接種券の発送が開始されたばかりで、コールセンターには問い合わせの電話が多くなっています。

5月からは高齢者向けの接種がスタートし、その後一般向けと順次、進められる予定です。天童市の新型コロナウィルスワクチン接種

は、接種券が自分の手元に届くと一つの安心感がありますが、高齢者の中には「いつ、どこで接種できるのか」などの不安もあります。天童市の新型コロナウィルスワクチン接種

詳細な接種スケジュールが記載されていないため、コールセンターには問い合わせが相次ぎました。今後のスケジュールに関しては5月1日の市報でどのように折り込みになりますので、ご確認ください。

65歳以上の高齢者の接種開始予定は、5月11日からとなっています。16歳以上65歳未満の方は、6月下旬に開始予定です。

集団接種の会場は、天童市総合福祉センター、天童市健康センターの2会場、その他個別接種として、天童市内の24医療機関が予定されています。

天童市は、新型コロナウィルス感染症の長期化で大きな影響を受けている観光関連事業者に対して支援金を給付することを、4月15日の臨時議会で議決しました。

観光関連事業者

## 天童市独自に支援金

山形県議会「県も同調して支援を」

天童市は、新型コロナウィルス感染症の長期化で大きな影響を受けている観光関連事業者に対して支援金を給付することを、4月15日の臨時議会で議決しました。

天童市は、新型コロナウィルス感染症の長期化で大きな影響を受けている観光関連事業者に対して支援金を給付することを、4月15日の臨時議会で議決しました。

天童市は、新型コロナウィルス感染症の長期化で大きな影響を受けている観光関連事業者に対して支援金を給付することを、4月15日の臨時議会で議決しました。

## 「おもだかの里」即完売

寺津地区 待望の宅地分譲

「おもだかの里」が公示日に、即日完売となりました。私も紆余曲折ありながらの事業でしたので、とても嬉しいです。この分譲は、子育て世代が土地を求め、移住、定住して頂くことを目的とした事業であり、5区画と小さな分譲ですが、農村集落部において集落活性化、小学校教育維持など大切な事業であります。

かねてより、山形県すまい・まちづくり公社に対して要望していた寺津地区の宅地分譲「おもだかの里」が公示日に、即日完売となりました。私も紆余曲折ありながらの事業でしたので、とても嬉しいです。この分譲は、子育て世代が土地を求め、移住、定住して頂くことを目的とした事業であり、5区画と小さな分譲ですが、農村集落部において集落活性化、小学校教育維持など大切な事業であります。

かねてより、山形県すまい・まちづくり公社に対して要望していた寺津地区の宅地分譲「おもだかの里」が公示日に、即日完売となりました。私も紆余曲折ありながらの事業でしたので、とても嬉しいです。この分譲は、子育て世代が土地を求め、移住、定住して頂くことを目的とした事業であり、5区画と小さな分譲ですが、農村集落部において集落活性化、小学校教育維持など大切な事業であります。



5区画が即日完成した「おもだかの里」天童市寺津

## 「保育料無償化」に期待

吉村美栄子県知事が選挙公約に掲げた「2021年度からの保育料無償化」をめざり、4月16日に開催された山形県市長会総会に参

加した多くの市長が、不信感をあらわにしました。吉村知事は当初、「保育料を無償化する」と公約を掲げ、選挙公約に

## 知事選挙公約に市長会が異義

が、蓋を開けてみるに、その財源の半分は市町村に求めるもので、これに対して山形市の佐藤孝弘市長をはじめ県内大半の市長が反対を表明。財源を求める事前協議もなかったことから事業の進め方に不満が続出しました。県側から市町村に説明がなかったのは知事選終了後の2月で、新年度の予算編成が終了していたところに突発的に出てきたわけです。保育料の無料化は子育て世代待望の施策と言えます。公約でもありますが、ぜひ進めたいところですが、スキームがまだ整理していません。

今回の保育料無償化には所得制限があり、県はこれを段階的に引き下げて最終的に所得制限を撤廃してすべての方を無償にする計画です。現在、所得制限がある段階で、県と折半して、例えば天童市が負担しなければならぬ額は800万円です。市長会会長の佐藤孝弘市長は「逆の立場で考えて欲しい。市町村も半分負担しなさい」と言っているのが、吉村知事が説明の中でよく使う「市町村と連携する」という言葉です。これは県が3800万円余りの事業が10事業ほどあり、それらの予算額は4億3800万円余りになります。天童市はまた財政力があります。負担が難しいために市民サービスが低下して

## 「県と共同事業が多い」市町村連携の真意は

# もりや仙一郎事務所

ご意見を募集しております。FAX・メール・ブログでこうして欲しい! ココが問題! 改善して欲しい...など

☎023-651-5539 FAX023-651-5549

〒994-0013 天童市老野森 3丁目 4-17

もりや仙一郎

検索

ホームページ <http://www.10016.jp/>

facebook 友達登録をお願い致します。 QRコードでアクセス

